

-来て、見て、鵜沼-



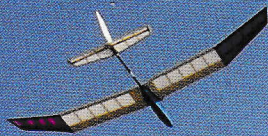
KIMIKUGE

鵜沼の今と昔を知る、楽しむ、フリーペーパー

無料 ¥0

2019.4

創刊号



鵜沼の魅力 -1-

鵜沼の海に
魅せられた人々



“

閑静な住宅街を抜けると、一面に広がる海。天气に恵まれば、富士山も出現する。鵜沼には、そんな環境を愛し移住してくる人も多い。海岸の歴史は、さかのぼれば明治時代に至る。住民たちが力を尽くし、日本有数の海岸へと発展してきた歩みがあった。

鵜沼の海に 魅せられた 人々

鵜沼

沼とは、神奈川県藤沢市の南側に位置する地域のこと。江の島をのぞむ鵜沼地域の海岸には、一年を通して沢山の観光客が訪れる。

鵜沼に魅せられ移り住んでくる人も多い。鵜沼地域の人口は、約5万7千人。鵜沼の歴史を知る古くからの住人から、東京や横浜をはじめとする様々な土地から移住してきた新しい住人まで。鵜沼は、多様な世代が集う地でもある。

新しい住人の中には、鵜沼の海を愛するがゆえに移住してきた人も多い。都心へは、車や電車ですぐ一時間から一時間半ほど。週末ごとに鵜沼の海に来てサーフィンを楽しんでいるうちに、鵜沼に移り住み、海を楽しむ生活をしつつ、都心や横浜へ仕事に出かける人たちもいる。住宅街にある新しい家やアパートなどの軒先には、屋外シャワーをよく見かける。潮水と砂を落とすシャワーは、海を愛する人々には欠かせない設備だ。

数年前、東京から鵜沼に移り住んだUさんもまた、海を愛するサーファーのひとり。「都心にある会社で仕事を終えて帰ってきたとき、鵜沼の海と風に包まれると、ここと身体が休まり、一日の疲れからの心地よい開放感があります」とUさんは語る。時折、早朝の海を楽しんでから都心の会社に出勤するという。趣味を大事にできる環境は、仕事や日々の生活に対するモチベーションの維持と向上にもつながると語ってくれた。

人々を魅了してやまない鵜沼の海周辺だが、かつては旧鉄砲場の広大な砂地であり、人住まぬ不毛の地だった。そこに鵜沼海水浴場

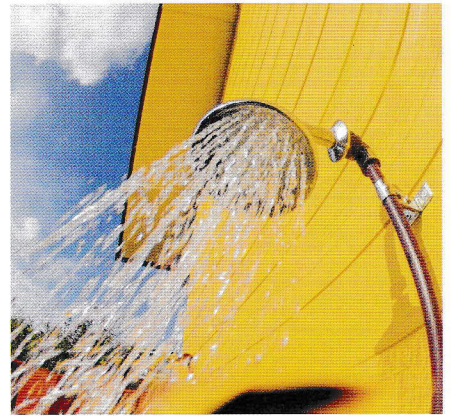
ができたのは、明治19年のこと。藤沢に鉄道を通す計画が持ち上がったのを機に、周辺住民が力を尽くし、海水浴場を開いたのが始まりだった。その後、江ノ電の開通などとあわせ鵜沼海岸周辺は別荘地として発展し、海には沢山の人が訪れるようになった。

当初は、「潮湯治」つまり健康のために開かれた鵜沼海岸であった。だが、明治30年台頃には、現代にも通じる姿、夏のレジャー地として人気を得ていった。地域の住民たちも、引き続き海岸の発展には非常に積極的に取り組んでいた。昭和43年には地元有志による「鵜沼懇親会」が開催され、750人ももの住民たちが海岸の振興ためにお金を出し合った。

鵜沼海岸は、日本のサーフィン発祥の地とも言われる。写真

(下)は、明治42年に鵜沼海岸で撮影された一枚。男性が手にしている洗濯板のようなものは、なんと当時のサーフボード（現在のボディボードに近いもの）。

さらに、大正初期の女流作家・内藤千代子によれば、鵜沼海岸では当時、女性たちも水着をまといサーフィンを積極的に楽しんでい



たという。

そして今では、海水浴、サーフィンだけでなく、ビーチバレーやビーチテニスといったスポーツも盛んに行われている。このように、昔も今も多くのの人々を魅了してきた鵜沼の海。その発展の歴史には、明治時代から連なる、住民たちの海へ込めた想い、尽力があった。

天気に恵まれれば、大きな富士山が見守るように浮かび上がる。きらきらと光を散らす昼間の太陽と海、わずかな間だけ橙に染まる夕陽と海。まるで映画のワンシーンのような、ぜいたくなひとときがすぐそこにある。

ただ海辺に佇み風景を楽しむだけでもいいだろう。今も昔も人々に愛され続けている鵜沼の海を、思う存分、堪能してほしい。



写真提供 鵜沼郷土資料展示室

鵜沼の魅力を伝える フリーペーパー 「KIMIKUGE」 創刊!

鵜沼

沼を知る、楽しむ、遊ぶ——

フリーペーパー「KIMIKUGE」は、鵜沼の魅力を発信し、魅力を広く伝えていくための情報誌です。

鵜沼のさまざまな場所を訪れ、ご紹介していきます。市民レポーターの募集、鵜沼ショートツアー、お店紹介、ウェブ版マガジンなどの企画も進行中です。

「KIMIKUGE」は皆さまからの「あれが知りたい」「これが知りたい」を募集しています。また、一緒に「KIMIKUGE」を作ってくれるサポーターも大歓迎！ お気軽に下記奥付までご連絡ください。

「KIMIKUGE」は、年2回発行、次号は秋ごろの予定です。

「KIMIKUGE」をどうぞよろしくお願いたします！ (編集部)



Photo by Kugenuma_KIKA

鵜沼を知る、楽しむ、遊ぶためのフリーペーパー
「KIMIKUGE」 vol.1

2019年4月20日発行

編集・発行

鵜沼地区郷土づくり推進会議 B委員会 「KIMIKUGE」編集部

〒251-0037 神奈川県藤沢市鵜沼海岸2-10-34 鵜沼市民センター 地域担当

Phone:0466-33-2001 / FAX:0466-33-2203

フリーペーパー

「KIMIKUGE」

を読んで、出かけよう

本誌を持参して下記のお店・施設に行くと、お得な特典・サービスが受けられます。地域のふれあいの場にぜひお出かけしてみてください！

鵜沼藤が谷
みんなの縁側

使用済印

コーヒー1杯無料

藤沢市鵜沼藤が谷2-11-32

火水木 10:00~16:00

以下の施設では、いつでもコーヒー・お茶が無料です！

ささえサロン

藤沢市鵜沼桜が岡4-14-13

グリーンルーム鵜沼

(鵜沼東いきいきサポートセンター内)

毎週火曜 10:00-16:00

協力:

鵜沼郷土資料展示室

鵜沼の歴史についてより詳しく知りたい方は、「鵜沼郷土資料展示室」へお越しください！

【現在の展示】

「鵜沼海岸別荘地で生まれた
印禪纏（しるしばんてん）
文化と電話回線事情」

4/2(火) - 8/15(木) 開催

10:00 - 16:00

藤沢市鵜沼海岸2-10-34

鵜沼市民センター内



KIMIKUGE